
「Transannular patchにより修復された、ファロー四徴症術後患者の専門医によるフォローの重要性に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2023年7月28日の期間に、埼玉医科大学国際医療センターを受診し、ファロー四徴症術後遠隔期肺動脈弁逆流症と診断され、肺動脈弁置換術を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

ファロー四徴症の初回心臓手術時に弁輪を越えたパッチ拡大による修復を受けた患者様で、術後遠隔期に肺動脈弁逆流を来した患者様を対象としています。この中で、循環器専門医による継続的な診療を受けてこられた方と継続的な診療を受けてこられなかった患者様とに分けて、予後や治療経過・心臓の機能等に差があるかどうかを検討する事を目的としております。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年11月01日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

病歴(身長・体重等を含む)、胸部レントゲン所見、採血データ、心臓超音波、心臓MRI、心臓カテーテル検査、心電図所見、術中所見、入院期間、外来診察期間等を使用する予定です。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓外科において、研究責任者である帆足 孝也が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

ファロー四徴症初回心臓手術時に弁輪を越えたパッチ拡大による修復を受けられた患者様に

に関して、術前・術後の検査データ(採血データ、心臓超音波・心臓MRI・心電図・胸部レントゲン・術中所見等)を診療録から得て使用します。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学国際医療センター	小児心臓外科	帆足 孝也	教授(研究責任者)
埼玉医科大学国際医療センター	小児心臓外科	飯島 至乃	助教
埼玉医科大学国際医療センター	小児心臓外科	瀧上 裕司	助教
埼玉医科大学国際医療センター	小児心臓外科	永瀬 晴啓	助教
埼玉医科大学国際医療センター	小児心臓外科	平野 暁教	講師
埼玉医科大学国際医療センター	小児心臓外科	鈴木 孝明	教授

4. 試料・情報の管理責任者

<提供元機関> 埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓外科 帆足 孝也 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 国際医療センター 小児心臓外科 帆足 孝也

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111(土日祝日を除く 8:30~17:30)

○研究課題名：Transannular patchにより修復された、ファロー四徴症術後患者の専門医によるフォローの重要性に関する研究

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓外科 帆足 孝也